

# いなづま

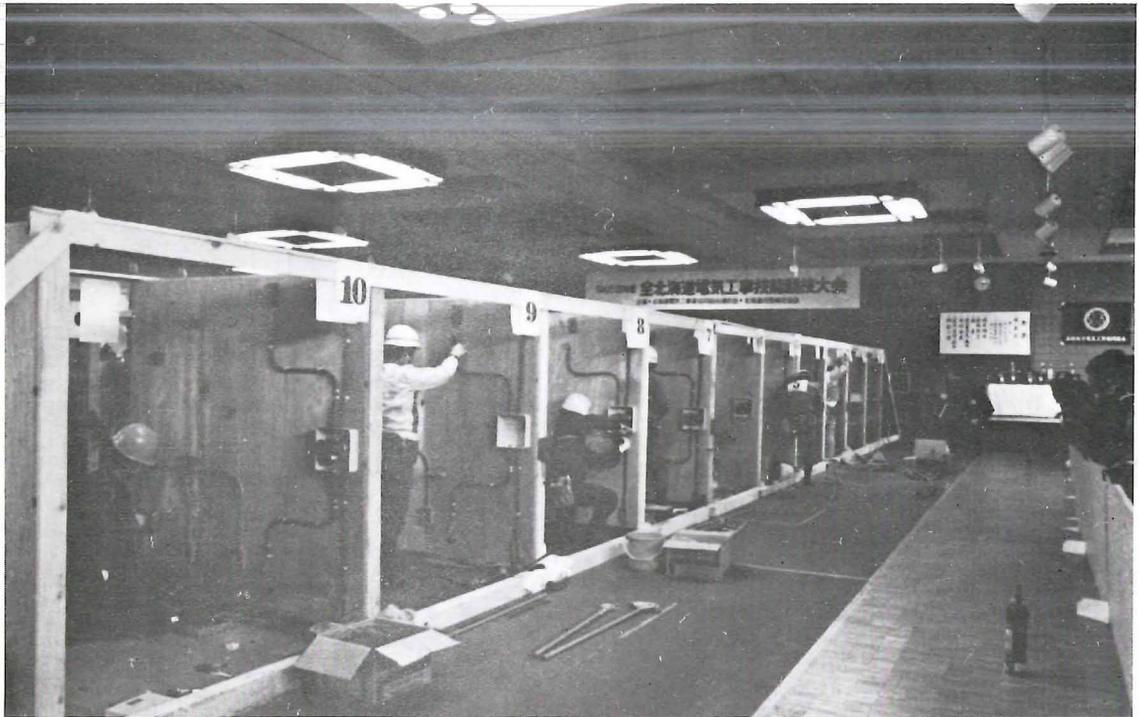
題字 小寺寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集総務部

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 島山印刷



## 過当競争

理事長 大倉伸夫

桜花も散り、落付いた新緑の頃となりましたが、組合員諸兄の近況は如何でしょうか。『不確定の時代』と云われる昭和54年の、私達業界の戦端は既に開始されており、幕が上がってみると例年通りの、いや例年以上の激烈な低価格受注競争が、この数年来のパターンで展開されております。毎年同じ様な非難や自己批判めいた論調があるにもか、わらず、毎年同じ現象が繰返され、この先私達の業界はどうなつて了うの、だろうと憂慮するのは、私一人だけではないと思ひます。

当組合で毎年掲げられる重要な施策の中で、工事価格の適正化の実施があげられておりますが、基本的には工量制の採用若しくは準用した積算方法によって適正価格受注と合理的な健全経営をすべく云う建前が、文字通りのタテマエになつて了つて、健全経営どころか工事獲得のために、なりふりかまわず無節操・不採算の超低価格受注に奔走して建設関連業界の中での評判を悪くし、電気工事業界の地盤沈下の足を引張る如き風潮がまんえんしているのは誠に残念なことであります。

この様な現象は、私達業者だけの責任でなく最近の経済情勢と、本来自由競争を建前とする自由主義経済の原則の結果、必然的に派生したものとは理解できませんが、電気設備を通して社会の発展とより安全便利な国民生活に寄与しているのだという自負と、これらに関連して、防災関係その他多種類の法規法律にしばられて施工しなければならぬ制約等、技術上管理上の完璧さを要求されるという自覚があれば、安易な低価格受注など出来ないものと考へます。

とまれ、私達は取り巻く環境の厳しさに耐えながら前進し、繁栄をめざさねばなりません。業界の地位向上と私達自身の利益のために、自覚を新たに今年も頑張ろうではありませんか。

# 役員会だより

## 第一回役員会

五三・四・六

### 一、慶弔報告

- (一) 空知協組創立二十五周年記念式典
- (二) 連合会小野寺理事尊父死亡
- (三) 榑手塚電気社長けが入院
- (四) 横井電気商会代表者けが入院
- (五) 下山電気商会代表者尊父死亡
- (六) 西川電気商会代表者尊父死亡
- (七) 北電函館支店労務課三好副長死亡

### 二、貸付報告

二社 七〇万円

### 三、各支部・部会の報告並提案事項

- 訓練部会 四月三日に入學式、四月二十二日に卒業式を挙行した。

### 四、総代の選挙について

総代の改選は役員会の改選時期にあわせて行なうことにしたい。

### 五、持分譲受・譲渡による加入申込について

- (一) 川口電気(株)——(株)電気通信保全センター
- (二) 岡崎電気商会——山田電気

### 六、出資金未納者に対する取扱いについて

七、全国家庭用電気設備安全運動の結果について

### 八、名義貸し行為の防止について

九、その他

- (一) 厚生年金基金制度の戸別訪問説明について
- (二) 高圧進相コンデンサー研修会について
- (三) 労働保険年度更新事務について
- (四) 安全衛生協議会組織の再編成について

## 第二回役員会

五三・五・九

### 一、慶弔報告

- (一) 高橋電気商会代表者死亡

### (二) 北邦電気(株)従業員死亡

- (三) 奥村電工・奥村電気商会代表者尊父死亡

### 二、貸付報告

一社 五〇万円

### 三、各支部・部会報告並提案事項

東支部 全道技能競技大会優勝者に記念品を贈呈した。

### 四、昭和五十三年年度総代会について

- (一) 日時・場所について次のとおり決定した。  
日時 五月三十日(火)午後一時三十分  
場所 組合会議室
- (二) 監事による会計期末監査の報告について
- (三) 提出議題の決定について

### 五、昭和五十二年度事業報告並決算について

六、昭和五十三年度事業計画並予算案について

### 七、北電工量単価の改訂について

(五三・四・一日竣工分より実施)

### (一) 配電引込線工事工量単価

一点当り一四五円(旧一四〇円)

### (二) 計測器工事工量単価

(イ) 高圧計器 一点当り一四五円(旧一四〇円)

(ロ) 低圧計器 一点当り一三二円(旧一二八円)

### 八、計測器工事工量の改訂について

(五三・四・一日より実施)

### 改訂の概要

(一) 電設付帯と単独工事を一本化した。

(二) 運搬工料を工量点数制に変更した。

(三) 工量点数の端数処理を行ない整数とした。

(四) 低圧変流器付計器の工量を見直した。

(五) 高圧計器に接地工事工量を積上げた。

(六) 付帯事項として接地資材を施工業者持ちとして新たに支払うことにした。

### 九、三E計器箱の価格改訂について

北電買上価格 七、三九二円(旧六、二〇一円)

組合員販売価格 七、三三二円(旧六、〇九五円)

### 十、全日電工連政治連盟の加入について

全日電工連において政治連盟が設立されるので加入方ご協力願いたい。

### 十一、事務局職員の給与について

十二、一般貸付金利の改訂について

日歩二銭一厘に改訂した。

## 第三回役員会

五三・六・七

### 一、慶弔報告

なし

### 二、貸付報告

なし

### 三、理事長・副理事長の選出について

投票の結果次のとおり選出された。

理事長 大倉 伸夫

副理事長 細川 政明

同 吉田 要

なお、総代会において選出された監事三名のうち猪股貫一・森谷勇一両氏が就任を辞退されたので、次点者西川文夫・安保芳男の両氏が繰上げ当選された。

### 四、役員の出当業務について

五、会議開催の方法について

役員会とするか、理事会とするか、正副三理事長により都度協議のうえ招集する。

### 六、事務局職員の給与改訂・夏期手当の支給について

七、全日電工連政治連盟加入の申込について

### 八、支部会議・行事等の報告について

九、新加入者に対する講習について

### 十、技能競技大会について

十一、退職理事者に対する記念品の贈呈について

## 第四回役員会

五三・七・二〇

### 一、慶弔報告

(一) 木村悦郎氏叙勲 一 祝賀会

泉茂雄氏褒章受彰

(二) 榑野電設社長病氣入院見舞

(三) 北部協組創立二十五周年記念

(四) 十勝協組創立二十五周年記念

二、貸付報告

一社 五〇万円

三、各支部・部会報告並提案事項

東支部―秋田市に於いて移動支部会を開催した。  
福島支部―安全大会を実施した。

中支部―役員会に附随する委員会を設ける場合は、

一般の組合員をも含めて構成し、現場の

意見をとり入れるようにして欲しい。

中渡島支部―既存の組合員にも工量制を指導周知して欲しい。

北支部―池田前支部長に記念品と感謝状を贈呈した。

江差支部―配線工事未完了のうちに、家電販売店が

無断で照明器具を取付け、絶縁測定をし

たら規定以下という事実があったので処

四、三水会の提出議題について

五、金融事業について

年末特別融資を受けた組合員に対して従来の転貸制度も申込を受けることに決定した。尚詳細については経理部会で検討を加える。

六、組合員の脱退について

(一)入江電気工事店 入江 嗣子

(二)高橋電気商会 高橋 寿

右の二者より脱退の申出があったので承認した。

七、その他

(一)建物内部の水道配管工事について

(二)電気安全強調旬間の実施について

(三)全日電工連政治連盟の加入促進について

第五回役員会

五三・八・一〇

一、慶弔報告

(一)樺電工業(株)社長尊父死亡

(二)太陽電気工業所社長尊父死亡

二、貸付報告

二社 一〇〇万円



(組合新年宴会)

三、各支部・部会報告並提案事項

東支部―全日電工連政治連盟に全員加入の承認を得た。

北支部―名義貸し行為についての話題が提出された。

訓練部会―電気工事士試験(学科)のための特訓を計画したが受講人員が少ない場合は中止する。

四、金融事業について

融資規約並びに内規について審議した。

五、道工業組合移動役員会について

六、名義貸し行為の防止について

組合の窓口および北電の窓口業務に携わる者について身分証明書を発行することに決定した。

七、工量制による積算について

試算の結果一点当り五〇〇円という数字が算出された。

八、事業内訓練校連絡協議会の開催について

九、官公需確保対策地方推進協議会の開催について

十、第三者賠償責任保険について

大倉理事長より概略についての説明がなされた。

第六回役員会

五三・九・一九

一、慶弔報告

(一)松田電気商会従業員死亡

(二)大久保電気(株)社長母堂死亡

(三)共栄電気工業(株)社長母堂死亡

二、貸付報告

三社 一三〇万円

三、道工業組合移動役員会の報告

四、各支部・部会報告並提案事項

八雲支部―工量制の説明会を開催したところ非常に参考になった。

江差支部―工量制の積算については非常に参考になった。

北支部―名義貸しの問題で苦情があった。

中支部―身分証明書の制度について賛成する。安全パトロール等を実施して名義貸し行為を無くするべきである。

訓練部会―函館総合高等職業訓練校より函館ドック

離職者の委託訓練の申入れがあったが、不可能ということで断った。

五、事務局職員燃料手当・慰安旅行補助金について

昨年度と同額で承認された。

六、その他

(一)引込工料集計手当てについて

(二)求人について

(三)金融について

(四)第三者賠償責任保険について

第七回役員会

五三・一一・七

一、慶弔報告

(一)道工業組合高田理事母堂死亡

(二)事務局職員田村祖母死亡

二、貸付報告

四社 一六〇万円

三、各支部・部会報告並提案事項

江差支部―道議会議員松崎義雄氏後援会の江差支部

を結成した。  
 北支部―電気工事業法の罰則について説明した。  
 八雲支部―最初の対北電森営業所との合会を開催し  
 (券ロッジ) た。

訓練部会―電気工事士試験(実技)のための特訓を  
 実施した。

四、会計中間監査の報告  
 安保監事より会計の中間監査実施の結果、適正で  
 ある旨の報告がなされた。

五、全道電気工事技能競技大会について

(一)日時 昭和五四年二月七日

(二)場所 桔梗流通センター

吉田副理事長より概略を説明ののち、業務分担、  
 競技課題、宿泊設備等について審議した。

六、永年勤続者表彰について

永年勤続者の表彰式について、日時・場所等につ  
 いて次のとおり決定した。

(一)日時 十一月二十二日午後三時

(二)場所 組合会議室

(三)負担金 被表彰者一名につき三、〇〇〇円

七、昭和五十三年度年末特別融資について

借入希望者は三五名位の見込み

貸付金利は年七、三%とし、すべて手形貸付とす  
 ることに決定した。

八、融資規約について

九、電気工事士法改訂に対する意見について  
 意見があれば事務局まで申し出ること。

十、身分証明書の提示励行について

(一)証明書の提示は自衛の意味も含めて自主的に提示  
 するよう周知願いたい。

(二)証明書の発行手数料は雑収入として計上する。

十一、その他

(一)最低賃金の改訂について

日 給 二、三五七円

時間給 二九五円

(二)現場の安全管理に関する函館労働基準監督署より

の警告について。  
 (三)ほくでん「こんにちわ旬間」について  
 (四)税務講習会の開催について

第八回役員会 五三・一二・五

一、慶弔報告

(一)旬日本電業社長母堂死亡

(二)保安協会半沢氏母堂死亡

(三)旬光南電機社長尊父死亡

(四)永年勤続表彰式費用

二、貸付報告

(一)一般転貸 二社一〇〇万円

(二)年末特別融資 三六社五、八〇〇万円

三、各支部・部会報告並提案事項

東支部―モーター・ブレーカーの不動作事故が多発し  
 ているので充分注意すること。

八雲支部―安全協議会パトロールを実施した。

江差支部―年末特別融資について説明した。

四、第三者賠償責任保険について

今年度分に限り、全組合員について保険料を組合  
 負担で契約することに決定。

五、新年宴会について

日時・場所等について次のとおり決定した。

(一)日時 一月二十六日 午後四時三十分

(二)場所 総務委員会決定

(三)会費 一名一、〇〇〇円

六、商工中金に対する出資金について

商工中金より要請のあった出資金一〇〇万円につ  
 いて承認した。

七、事務局職員冬期手当について

正副理事長に一任する。

八、御用仕舞、御用始について

御用仕舞 二月二八日

御用始 一月 六日

九、電気工事士法改訂に対する意見について

組 合 行 事

4月3日 訓練校入学式(於訓練センター)

同日 訓練校指導員会議

7日 第一回役員会

8日 八雲支部総会

11日 北支部定例会議

13日 総務部会議

14日 道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理  
 事長出席

同日 訓練校主任会議

15日 江差支部会議

17日 函館地区安全衛生協議会(於北電)

18日 東支部会議

20日 北支部会議

22日 訓練校卒業式(於組合会議室)

24日 福島支部会議

28日 昭和五十二年会計期末監査

27日 第二回役員会

5月9日 全道事務長会議に坂本事務局長出席(於札  
 幌協会議室)

10日 東支部定例会議

19日 技能五輪全国大会の視察のため、吉田副理  
 事長、吉岡主任指導員出席(於千葉市)

21日 訓練部会議

23日 事業内訓練校道南ブロック校長・事務長会  
 議に、森谷校長、坂本事務局長出席(於岩  
 内町)

26日 中渡島支部会議

27日 全日電工連災害互助会に大倉理事長出席  
 (於東京都)

同日 第三十回通常総代会(於組合会議室)

30日 訓練校主任会議

6月2日 訓練校主任会議

7日	第三回役員会	同日	第四十九回三水会(於組合会議室)	20日	全道事業内訓練校連絡協議会に森谷校長出席(於天人峽)
9日	道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席	27日	第十回北海道職業訓練大会企画委員会に森谷校長出席(於札幌市)	21日	東支部会議
15日	中支部定例会議	28日	経理部会議	23日	全道事務長会議に坂本事務局長出席(於苫小牧市)
16日	中渡島支部定例会議	同日	東支部会議	27日	電波障害防止協議会役員会に大倉理事長出席(於北電)
同日	技能競技大会打合せ会議	8月8日	北支部会議	28日	西支部会議
18日	東支部移動会議	9日	いなづま編集会議	同日	訓練校主任会議
19日	訓練校指導員会議	10日	第五回役員会	同日	経理部会議
20日	道工業組合委員会ならびに木村悦郎氏、泉茂雄氏叙勲祝賀会に、大倉理事長、吉田副理事長出席	11日	総務部会・現業部会合同会議	同日	現業部会議
24日	技能競技大会審査委員会	同日	団体中央会理事長会議に大倉理事長出席(於札幌市)	同日	資材業者との懇談会
25日	第二回支部対抗技能競技大会(於訓練センター)	18日	西支部会議	9日	北支部定例会議
27日	北部協組創立二十五周年記念式典に大倉理事長出席	同日	訓練部会・訓練校指導員合同会議	7日	資材業者との懇談会
同日	電波障害防止協議会総会に坂本事務局長出席(於共愛会館)	19日	経理部会議	9日	電気工事士実技試験特訓
28日	健康保険事務取扱説明会に坂本事務局長出席(於市民会館)	22日	中支部会議	13日	資材業者との懇談会
7月3日	小規模企業振興委員連絡協議会に坂本事務局長出席(於商工会議所)	23日	道工業組合事業委員会に大倉理事長出席	14日	訓練校修学旅行(洞爺湖)
6日	道工業組合事業委員会に大倉理事長出席	同日	商工会議所主催「経営セミナー」に坂本事務局長出席	15日	道工業組合事業委員会に大倉理事長出席
7日	十勝協組創立二十五周年記念式典に大倉理事長出席	25日	八雲支部役員会	18日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長、吉岡主任指導員出席
11日	道工業組合会計中間監査に吉田副理事長出席	26日	経理部会議	19日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席
同日	北支部定例会議	28日	八雲支部安全協議会総会	20日	職業訓練推進協議会に大倉理事長出席(於総訓)
12日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席	29日	第二十八回北工連絡会議(於組合会議室)	同日	中渡島支部定例会議
17日	全日電工連災害互助会に大倉理事長出席(於東京都)	9月7日	道工業組合移動役員会に大倉理事長外理事六名出席(於阿寒湖畔)	同日	八雲支部会議
同日	訓練校主任会議	8日	新加入組員に対する説明会	11月1日	経理部会議
19日	福島支部安全大会	12日	参考メーターについての通産局・北電・電気試験所・計器工業・組合同懇談会(於組合会議室)	同日	会計中間監査
20日	第四回役員会	14日	小規模企業振興委員会議に坂本事務局長出席(於商工会議所)	6日	年末特別融資説明会(出席者三二名)
		17日	事務局慰安旅行(天人峽・札幌・小樽)	22日	永年勤続者表彰式
		18日	全日電工連災害互助会に大倉理事長出席(於東京都)	12月5日	第8回役員会
		19日	第六回役員会	同日	中渡島支部会議
		同日	保安協会との懇談会	8日	渡島支庁による電気業法立入検査(二〇件)
				8日	交通安全協会設立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於市民会館)

### 組合員の異動変更

(組織・名称・住所の変更)

(新)

一、(有)丸石電気商会

亀田郡七坂町字大川三三七二三 函館市宮前町二二一五

電話(0155)一六二〇〇

一、デンキの加野井

函館市若松町四〇一九 函館市人見町四一九

一、共栄電気工業(株)

松山郡江差町字柳崎三七一 松山郡江差町字豊川町一五二一五

電話(0155)三三六三六

一、(株)工藤電気商会

函館市美原一丁目三五一三三 函館市赤川通町二五二二〇

一、第一電気工業(株)

第一電気工業所

一、日本電設工業(株)函館支社

支社長 大坊 一郎 支社長 堺 清隆

一、(株)平松電気工務所

函館市美原一丁目三三七七 函館市赤川通町二〇一三三

一、(有)土田電気

土田電気工業所

- 同日 東支部定例会議
- 同日 小規模企業振興委員会議に坂本事務局長出席 (於商工会議所)
- 9日 北支部会議兼忘年会 (於景福ホテル)
- 同日 全道電気工事技能競技大会打合会議に吉田
- 15日 吉岡競技委員出席
- 同日 道工業組合役員会ならびに田中義秀・佐藤喜七両氏の叙勲祝賀会に大倉理事長、吉田副理事長出席 (於札幌市)
- 同日 西支部会議兼忘年会 (於陶陶亭)
- 17日 全日電工連災害互助会打合会議に大倉理事長出席 (於滝川市)
- 29日 組合御用仕舞

### 組合員消息

- 一、(株)平井電気 平井電気商会
- 一、ヒトシ電器 函館市高松町三七四一二 上磯郡上磯町追分町四三二四 電話五四一〇五八二
- 一、佐上電気 上磯郡上磯町字七重浜一九三三七〇 上磯郡上磯町字七重浜二八五
- 一、(有)奥尻電機 奥尻郡奥尻町字青苗 奥尻郡奥尻町字奥尻 電話(0157)三三三六〇
- 一、(株)松山電気工業 代表取締役 上戸 優 代表取締役 上戸 ノブ
- 一、五月上旬 (有)堀野電設社長堀野一郎氏病氣入院 (六月下旬退院)
- 一、九月上旬 上ノ国電気工業所代表者川島勝三郎氏病氣入院 (十二月下旬退院)
- 一、十一月中旬 函山電気商会代表者畑山清治氏病氣入院 (十二月下旬退院)
- 一、十二月二十三日 (有)池田電気工事事務所類焼
- 一、四月三日 高橋電気商会代表高橋寿氏死亡
- 一、四月二日 北邦電気(株)従業員伊藤春吉氏死亡
- 一、四月二日 奥村電工代表者奥村次男氏・奥村電気商会代表者奥村幸男氏尊父死亡
- 一、七月七日 樺電工業(株)社長平沼智子氏尊父死亡
- 一、七月二日 (有)太陽電気工業所社長寺本源佐久氏尊父死亡
- 一、八月二五日 松田電気商会従業員田村勉氏死亡
- 一、八月二九日 共栄電気工業(株)社長山崎雄氏母

### 新加入組合員の紹介

昭和五十三年度新加入の十九名の方をご紹介します。(加入月日は昭和五十三年四月一日)



新栄電気

七尾 英明

昭和二十三年二月二十六日生 函館市鍛冶町一―二二 電話 五二一七〇一六

昭和三十八年(有)日光電気に入社、昭和四十八年十二月に退職独立開業

- 一、八月三一日 堂死亡
- 一、八月三一日 大久保電気社長大久保智徳氏母堂死亡
- 一、十一月十四日 (有)日本電業社長遠藤修三氏母堂死亡
- 一、七月二五日 (有)光南電機社長横井雄吉氏尊父死亡
- 一、一月四日 函栄電気代表者内藤俊男氏母堂死亡
- 一、二月十三日 石川電気商会代表者石川光男氏尊父死亡



光進電気工業

高橋 敏雄

昭和二十三年一月十六日生

函館市昭和町三三五―二九

電話 四二―二二三五

昭和三十七年協信電気工業(株)、昭和四十五年北斗電気(株)を経て昭和五十年八月独立開業。



西沢電気

西沢 幸財

昭和十五年七月十二日生

函館市赤川町一五一―二

電話 四六一〇六四八

昭和三十一年十月、(株)弘電社、四十六年七月、大鎌電気工事施工組合を経て五十二年六月独立開業。



正栄電気

小林 豊

大正十五年三月十日生

函館市鍛冶町一〇―一八

電話 五四―四七〇〇

昭和四十三年七月、佐々木電気商会、四十五年八月石垣電気工事店、四十八年十一月大鎌電気、四十九年五月、大鎌電気工事施工組合を経て五十二年六月独立開業。



富岡電気工事

池田 和徳

昭和十九年十一月七日生

函館市富岡町二丁目三七―一六

電話 四三―四〇五四

昭和四十四年二月(株)照電社、四十七年三月(株)タマツ電気商会を経て五十二年十月独立開業。



マツヤ電気商会

天谷 光広

昭和二十三年四月三十日生

函館市赤川通町二六〇―一一

電話 四七―〇三二三

昭和三十八年四月梶原電気工業(株)、四十二年十一月佐々木電気商会、四十四年十二月佐藤電気工業所を経て四十八年六月独立開業。



函館電設(株)

松本 明

昭和三年二月十三日生

函館市本町一七一―五

電話 五五―九六二二

昭和四十三年四月三興電機(株)を経て、五十一年四月独立開業



函栄電気エンジニアリング

内藤 俊男

昭和十六年四月四日生

函館市田家町四―二一

電話 四二―四九三九

昭和三十二年四月、(株)工藤電気商会を経て、五十年四月独立開業。



三立電気(株)

館山 敏之

昭和十六年一月三十一日生

函館市宮前町二―七

電話 四二―二二二五

昭和三十三年四月、川口電気(株)を経て、五十二年八月独立開業



早川電気商会

早川 誠悦

大正十三年八月十一日生

函館市高盛町三四―一六

電話 五一―九八八六

昭和二十二年十月、日本電機保全(株)を経て、五十二年四月独立開業。



沢井電気

沢井 正鶴

昭和十六年二月八日生

函館市湯川町二丁目六一〇

電話 五七一五三九二

昭和三十七年四月、日平電装、四十四年四月(株)平井電気を継いで五十二年十月独立開業。



(有)北星電気工事

田口 正弘

昭和二十年一月二十八日生

函館市湯川町三丁目

電話 五九一二二二八

昭和二十六年九月川口電気(株)を経て、五十年十一月独立開業。



土屋電気工事店

土屋 友和

昭和十八年六月二十五日生

函館市の場町二一三

電話 五一七七七八

昭和三十八年五月大鎌電気(株)、四十二年八月入江電気工事店を経て五十二年十二月独立開業。



江坂電気商会

江坂 啓一

昭和二十三年八月五日生

茅部郡鹿部村字本別

電話(〇三三七)三七四〇

昭和三十九年四月武市電気工業所、四十四年二月、佐々木電気商会、四十五年二月中野電気商会を経て、五十一年九月独立開業。



里見電気工事

矢本 里美

昭和二十七年五月二日生

上磯郡上磯町東浜町

一三六一七

電話(〇二六七)三七一〇二二

昭和四十三年四月、前田電気商会を経て、五十二年十月独立開業。



日栄電気

川村 繁一

昭和二十八年六月十六日生

亀田郡七飯町飯田町

二一七

電話(〇三六五)四九六七

昭和四十四年五月(有)深田電気、四十八年六月、佐上電気を継いで五十二年十二月独立開業。



マルコ電機

小林 勇一

茅部郡南茅部町

字川汲四一

電話(〇三三三)二一五〇八〇

昭和四十五年五月、家電販売店として開業、五十一年十一月工部部を開設。



和光電気工事

松本 栄次郎

昭和二十四年三月三十一日生

松山郡江差町字新栄町

一六八

電話(〇三六五)三二八七五

昭和四十年四月、共栄電気工業(株)、四十七年八月(株)北電工を経て、五十一年七月独立開業。



三光電気商会

吉田 一

明治三十六年八月

二十六日生

松山郡江差町字中歌町

電話(〇三六五)二一〇一三六

昭和二十九年四月、家電商品販売店として開業、四十八年五月工部部を開設。

# 全道技能競技大会

## 盛會裡に開催

二月七日西桔梗町の流通センター展示場ホールに於いて第十二回の全北海道電気工事技能競技大会が開催された。

前日、全道的な悪天候について湯川旭館、プリンスホテルに集合、一泊した選手団は当日快晴に恵まれ、寒風の中をセンター展示場の受付に午前八時を期して出揃った。

今回の大会は当組合が当番組合に当り、昨夏より課題の作成、資材の手配、会場の設営等、着々と準備を進めて来た。特に課題の作成は、工業組合技術経営委員会に於いて承認を受け、更に全道単協より各一名選出されている技能大会競技委員全員の合意を経ねばならず、更に決定課題の採点基準表も作成合意を得るという『決め』があつて、担当となつた吉岡委員始め訓練校関係者の苦勞は大変なものであつた。特に吉岡委員は前述の全道審査委員でもあり、二、三度札幌や室蘭へ出張までしてその衝に當つた。

会場の設営と作業板の作成も予算の枠内で有効に仕上げるべく昨年より鋭意研究し、本年に入つてからも幾度かの会合を持つて討議した。大会運営と設営は、組合役員全員と訓練校関係者、講師指導員全員の外、組合員の中より三名程依頼して、セレモニー、競技運営、審査、補助、賞状賞品の選定等の各分担を決め、違漏のない準備を行った訳である。

前日の六日は関係者全員集合して作業板の据付（専門業者に依頼）や式典場の設営を完了し、資材の搬入も手筈通り完了した。

午前八時三十分開会式が始り、大倉理事長の歓迎のあいさつ、大会長田中道連合会会長のあいさつ、更に競技委員長として北電本店営業部齊藤次長の訓示のあと、選手宣誓と続き、午前九時競技の幕が切つておとされた。

当組合及札幌を除く全道九単協は、壮年、青年、少

年各組一名、当組合と札幌は各二名と合計三十九名の選手が、所属組合の名譽にかけて腕を競い合った。展示場のカクテル光線の中に、単協によつては選手激励の横幕や、選手名を大書した張り紙が出されたりして時を経るにつれて熱気が満ち、我々設営時に心配された暖房温度の問題も忌援に終り、むしろサイドの天窓の一部を開放した程であつた。

当日は平日であつたが、組合員の見学者数は少なかつた様であつたが、卸センター内であつたので電機問屋の関係者や北電関係、関係官庁の見学者が多かつた外、国立総訓の訓練生が三十名程熱心に見学していたのが印象的であつた。

競技時間は三時間と決められたが、二時間を切つて終了した選手もあり、見学者の人波がそちらへ移動する一駒があつたが、予定時刻には全員が競技を完了した。

選手団が昼食に退場したあと、二時間に亘る審査が始つた。審査時間の二時間は少し無理であつたが、帰路の特急発車時刻の十六時十五分に合わせた運営計画であるので仕方がなかつた。ただ従来の大会の様に競技場内に審査員以外の役員が入り込んで、審査の邪魔になつたり、審査上のトラブルに容喙して時間の空費があつたりした経緯にてらし、今回は審査員と補助員以外の一切の役員の入域を禁止、写真撮影も専門員一人で行う等きびしい規制をした為に、審査は比較的能力的に行われ、別室での審査集計も予定時間内に終了した。

十四時三十分、閉会式に移り成績発表の後、表彰式が始つた。道連合会会長賞、全日電工連会長賞、北海道知事賞、北海道技能検定協会会長賞、技能五輪大会賞、と晴れの入賞選手達が、賞状と楯があくられ、全員に参加賞が授与された。

当組合は壮年組の山下君が二位に入ったのみで他の五名は残念ながら入賞を逸した。最後に齊藤審査委員長の講評があり、予定時刻通り大会は終了した。

尚、次期大会からは厳寒期の開催をさける事と、技能五輪の選手予選（少年組）を兼ねない事が工業組合役員会で決議されたので、五十四年度中の開催は見合わせ、次期十二回大会は明五十五年の五月頃帯広に於いて開催の予定である。

今回の大会に際し、会場の設営運営共々、寒冷期の開催にもかかわらず、会場にも恵まれたせいもあり、各単協の役員達にも大変好評であり、賞讃をうけた事は、昨年より種々努力した関係者一同に対して、誠に嬉しいはなむけであつた。

## 栄えある入賞者

### ○壮年の部

順位	氏名	協組名	所属事業所名
一位	藤井 省吾	南北道	拓北電業(株)室蘭支店
二位	山下 幸男	函館	(有)池田電気工事
三位	松橋 英幸	苫小牧	拓北電業(株)苫小牧支店
四位	設楽 光明	小樽	(有)道協電気商会
五位	安藤 市郎	道北	(株)三恭電設

### ○青年の部

順位	氏名	協組名	所属事業所名
一位	柴田 明	空知	居林電気(株)
二位	林 勇司郎	小樽	(有)増成電気商会
三位	原田 亮次	釧路	中央電気(株)
四位	鈴木 淳士	北見	横井電気(株)
五位	市原 安隆	十勝	(有)恒和電気商会

### ○少年の部

順位	氏名	協組名	所属事業所名
一位	吉田 正	札幌	関東電気工事(株)札幌支店
二位	豊岡 健吾	空知	雨池電気商会
三位	長谷川 淳悦	南北道	拓北電業(株)室蘭支店
四位	小野寺 慶吉	札幌	東北電気工事(株)札幌支店
五位	増子 莊志	北見	田中電工(株)北見支店

## 全道技能競技大会

## うらばなし

吉岡 成彰

全道電気工事技能競技大会も回を重ねて第十一回となり、本年は当組合が当番となつて二月七日流通センターホールにて開催されました。

課題の作成を依頼されて十月初旬頃迄に完了しなければならず、八月頃より案を練つておりましたが、一・八米四方の立体面の作業板上に今迄の様に電灯工事（単相二線式一〇〇V）を施工する課題となると種切れになった様に思い、単三式にしようか分電盤の結線迄入れようか、または動力工事にしようかと悩んでおりました。特に最近の動力工事となりますと電磁閉閉器を使用し光・音・温度・圧力等、色々な物を媒体とし自動的に制御出来る機械類が多く、必然的にこれらの配線工事も多くなって来ております。

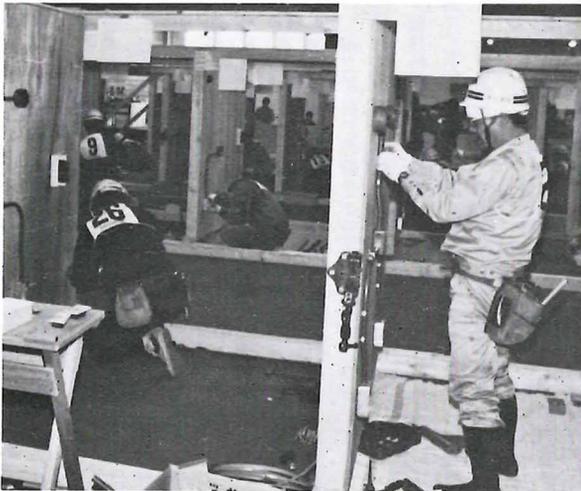
さいわいにも昨年五月に千葉県で行なわれた全国技能五輪大会（少年組だけ）を見学する機会に恵まれ同じ大きさの作業板上に電灯工事（単相二線式）と動力工事（三相三線式二〇〇V、電磁閉閉器を使用したもの）を課題としておりました。

私は動力工事と電灯工事の併用の方がいいように思い、諸先輩の意見を聞いてこれにしようと思いましたが、二つの難点がありました。

それは作業時間と材料費の問題でした。

技能五輪全国大会は作業時間が六時間ですが、全道競技大会は三時間及至四時間位でなければ閉会式、閉会式、審査時間、その他の時間を入れて一日で終了するのは非常に困難になります。

もう一つの材料費の問題ですが限られた予算で運営するので一人当り四、五千円位が限度となり、電磁閉閉器等が使用出来なくなります。しかしながら技能五輪全国大会では、選手が各自電磁閉閉器を持参しておりますので（メーカー規格を統一して）そのようにし



ようと組合役員と相談し決定しました。（最終的には当組合の負担となった。）

以上のように四時間の条件で少年組と青壮年組の問題を二つ作成し我が訓練校の生徒にぶっつけ本番で作業をやらせてみました。

所が規定時間内に作業の終わった生徒が二名しかおらず、他の生徒は約一時間位オーバーしてしまいました。課題の提出日がせまっていたので十月の工業組合の技術委員会にそのまま持参し発表しました。

帰函後プログラムの作成に入り、遠方から出席する選手の帰省時間（汽車の発車時間）が問題になり閉会式終了時間が十五時頃迄に終了しなければ汽車の発車時間に間に合わなくなるので、新しく課題を作ろうか、いや、課題は、事前に選手に公表するので練習時間もあり、かつ又、選手として選ばれてくる人達だから技能も優秀であり、作業時間も早いだろうとも思い、又前年の競技委員会の申し合せにより、大会前日の打合せにより寸法の変更があるかも知れず、どのようにしようかと諸先輩、組合役員等と相談し問題をほとんど修正せず、ボックスの穴あけ、機具の取付省略等である程度時間の短縮をはかることに決定し、十一月の競技委員会に提出し最終的に承認されました。

次に採点表の作成に入りましたが、競技委員会で電灯工事と動力工事のどちらか片方が誤結線の場合失格としないと申し合せにより、各工事に採点表を作成し片方に乗率を掛けるように採点表の作成も完了しました。

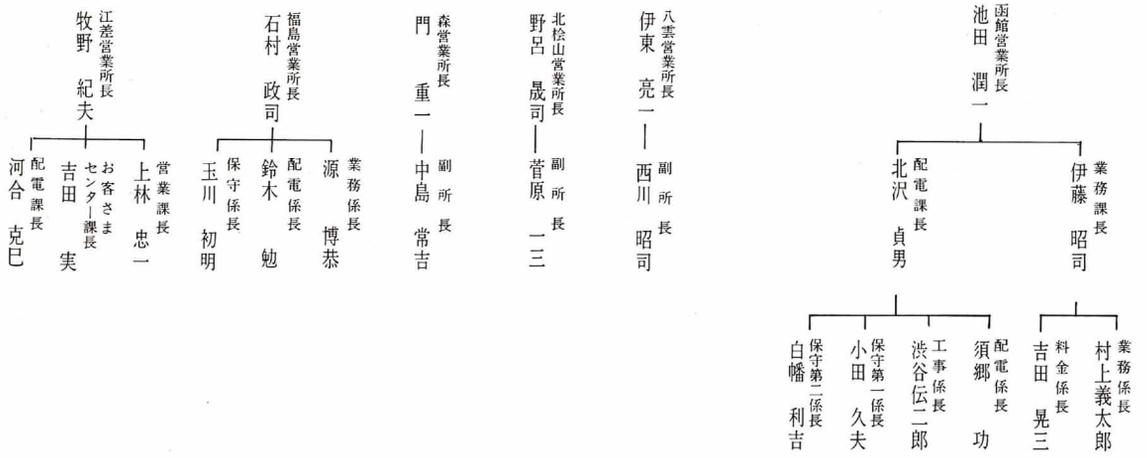
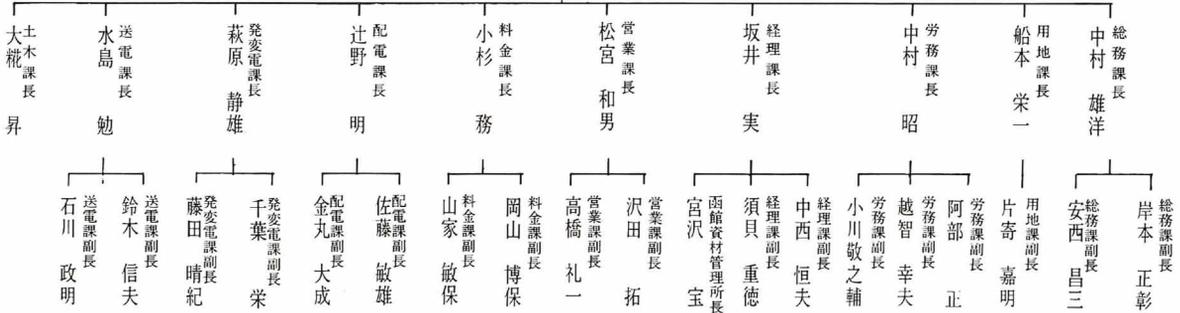
以上課題及び、採点表の作成迄の経過を書きましたが、今後作業板の構造（天井を作り作業板を立体化する、作業板を大きくする等）を変更したり、作業時間を長くすることによって課題もバラエティーにとんだものが出来るのではないかと考えております。

北海道電力(株)函館支店管内組合関連組織図(S54.5.15日現在)



支店長 秦 正美

次長(事務) 佐々木秀三  
次長(技術) 小林 晃  
課長 池浦 勤  
支店副長 湯浅 重光



電 業 所

- List of power stations and their locations: 小島嘉造, 藤浪俊男, 三上英二, etc.

あかるい明日を技術でひろく

### 東芝電材株式会社 函館営業所

040 函館市大縄町二十二番十四号  
電話 函館 四一―二三四一

吟味する

### 松下電工株式会社 函館営業所

函館市昭和町三九六の一  
電話 函館 四二―五八二一

工事材料・電化製品

### 丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九―四九  
電話 四九―一三三三

全道随一の照明設備センター

電設機器資材の総合電機卸

### 大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町天七―二七  
電話 四九―六二一  
照明 函館市千才町十九の三  
電話 代二―七一九  
営業所 札幌 八雲・福島



三菱電材特約店  
あらゆる電設資材卸

### 隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九―一〇八  
電話 四九―六二二六

電設資材・機電綜合卸

### 進和電機株式会社

040 函館市松川町三四―一三  
電話 四二―六二三一

明日をひろく電設資材の総合卸商社

### 株式会社 工三ヤ商会

函館出張所

函館市豊川町七番二八号  
電話 二六―三〇二一(代表)  
本社・札幌 支社・東京 営業所・釧路  
出張所・苫小牧

電気工事材料

### 石垣電材株式会社

函館出張所

本社 〇六〇 札幌市中央区北六条西三丁目一番地  
本社 〇五三 苫小牧市末広町七番地  
出張所 〇四〇 函館市八幡町二四番三三号  
〇三八 四一―三三三番